

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町湖原4
電話2-9772

新年度にあたり

所長 吉山 明利

令和八年度が始まりました。各学校におかれましては、新たな出会いを迎え、それぞれの思いを胸に新年度をスタートされたことと思います。子供たちの新しい一歩に寄り添いながら、学校が希望に満ちた学びの場として動き始めていることに、心から敬意を表します。



本年度、隠岐教育事務所では、次の重点を掲げ、訪問や研修をとおして、学校教育・社会教育それぞれの充実と連携を図っていきます。

【学校教育について】

◇授業づくりに係る支援

○学校や教育団体等の授業づくり、校内研究や教育研究等の推進に係る主体的・自主的な取組を支援する。

◇生徒指導に係る支援

○各町村教育委員会と連携し、学校における組織的な生徒指導の推進を支援する。

○学校のニーズに応じ、生徒指導主任・主事等が中心となった生徒指導の充実を支援する。

◇特別支援教育に係る支援

○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを支援する。

○校内体制の構築や充実を図るための支援をする。

○授業づくり・生徒指導担当指導主事と連携し、それぞれの良さを生かした「つながる」支援をする。

【社会教育について】

◇ふるさと教育の推進

○系統的・発展的な「ふるさと教育」の展開への支援をする。

◇地域全体で子供を育てる体制づくりの推進

○学校・家庭・地域がめざす子供像や地域像を共有できる体制づくりの強化を図る。

○地域ぐるみで子供を育てようとする気運を醸成する。

◇地域づくりを担う人づくりの推進

○公民館を核とした人づくりの機能の強化を図る。

○各町村の地域リーダーをバランスよく、計画的に養成する。

私たちが大切にしたいことの一つに、「子供たちの主体性を育てる」ということがあります。主体性とは、子供に任せきりにすることではありません。子供自身が「なぜ学ぶのか」「何を指すのか」を意識し、見通しを持ち、粘り強く取り組み、自分の学びを振り返りながら次につなげて

いくことです。授業の中で、子供が問いをもち、自分の考えを持ち、他者との対話をとおして考えを広げたり深めたりする姿を、私たちはもつと大切にしていきたいと思えます。

そのために必要なのは、教師が一方的に学習を進めるのではなく、学びの主体を子供にする授業づくりです。単元や授業のねらいを子供たちと共有し、子供が自ら考える場面を

作ること。既習事項を生かしながら課題解決に向かうことができるよう支えること。友達の考えと出会い、自分の考えを見つめ直す機会を丁寧に位置付けること。こうした積み重ねが、子供たちの「学ばされる姿」から「自ら学ぶ姿」への転換につながっていきます。学びの主体を子供たちにする授業づくりを、各学校で着実に進めていた



令和8年度 隠岐教育事務所スタッフ

○所長	吉山明利	(08512) 2-9770
○総務課		
総務課長	渡邊友美	2-9774
主任	長谷川由香	2-9773
主任	中村将太(新)	2-9772
会計年度任用職員	田崎一葉	2-9772
	(FAX)	2-9777
○学校教育スタッフ		
指導主事(調整監)	新谷慎太郎	2-9771
指導主事	濱田貴士	2-9778
指導主事(生徒指導専任主事)	池田里恵	2-9776
指導主事	広兼香苗	2-9775
指導主事(特別支援教育支援専任教員)	奥谷雅也	2-9775
指導主事	永島好喜	(隠岐の島町派遣)
指導主事	福山貴司	(海士町派遣)
指導主事	中山小夜	(西ノ島町派遣)
指導主事	塚本 潔	(知夫村派遣)
○社会教育スタッフ		
社会教育主事(企画幹)	稲葉泰範	2-9776
社会教育主事	林 明範	(隠岐の島町派遣)
社会教育主事	池田高理	(海士町派遣)
社会教育主事	氣賀澤誠	(西ノ島町派遣)
社会教育主事	池田恒祐	(知夫村派遣)